

小児在宅生活支援地域連携シートアンケート結果

平成25年8月実施

◇大阪府保健師における地域連携シートの平成25年4月～7月の活用状況の把握

使用有 8保健所 今後使用予定 5保健所

使用件数 29件

使用事例： 脊髄性筋萎縮症、サイトメガロウイルス感染症、脳性まひ、18トリソミー、気管狭窄
下咽頭軟化症、慢性呼吸器疾患、低酸素性虚血性脳症、等
(多疾患合併事例もあり)

医療的ケア 人工呼吸器、気管切開、在宅酸素療法、吸引、胃ろう、経管栄養、ストマ
内容： (ほとんどの事例で3～4の医療的ケアの同時使用している)

シートの変更あり 4保健所 そのまま使用 4保健所

変更部分： 項目 ⇒ 3保健所 関係 機関 ⇒ 2保健所 時期 ⇒ 1保健所
その他 ・カンファレンスに実家のある保健所と自宅先の保健所の2カ所
参加のため、保健所欄を2つにした
・使用のある機関を上にして、使用のない機関を下にした 等

意見： ・病院への確認事項を検討する参考になった
・カルテにはさみ必要な支援の確認(チェック表)に用いている
・重心の子どものサービスの周知という視点で幅広くケースに活用できる
・関係機関がお互いの存在、役割を認識できる機会になった
・かかわっていない関係機関が多く、チェックしない項目が多い
・円滑に連携できている場合は、このシートによって各機関の役割が固定
されたり制限されたり、一人歩きすることのないように活用すべき
・かかわっている関係機関以外を削除して余白を作れば内容追加や今後の
計画、チェック項目などの記入ができるが、一度削除すると追加が大変かも
・保健所欄については、同じ年齢の中で数回チェックでき、その日付も
書ける欄があるとよい
・現在の状況の欄で、今の状況と今後の課題の区別をつけにくい
・ケース会議が頻繁にないので長期分は活用しにくかった

使用シートからの気づき

- ・長期分は矢印でなく、項目がある方がチェックしやすいのでは
- ・項目のチェック欄だけでなく、日付が書ける方がいいのでは
- ・多くの意見はあるが、事例により使い勝手が異なるので、事例ごとに各保健所で変更していくしかないのではないか